

第4回協議会以降のバイオマス発電所の経過について

【バイオマス発電所の現状】

- プラントメーカーによる定期点検後、プラントメーカーから引き渡しを受ければ本格稼働になると伺っていた。
- 点検の結果、燃焼負荷が100%に至らず、再度、試運転を実施して、次のボイラー点検を3月に行い、ボイラーの状況により、引き渡しや本稼働の可否判断を行うものと考えられる。
- 以前より事業者に求めていた当協議会での施設見学について、11月18日に事業者から見学実施を了解する文書の送付があり、その後調整等を行い、本日、施設を見学する。
- 発電所敷地外の東側排水路に、1月20日以降、燃料の飛散が生じていることについて、1月28日に回収状況を確認し、排水路の飛散はおおむね回収されていたが、フェンスと排水路の間の草木に燃料の飛散が確認された。引き続き回収を依頼する。

【市によるモニタリング】

●大気

◇事業者が専門業者に依頼した排ガス測定結果で、窒素酸化物・硫黄酸化物・はいじん・塩化水素・ダイオキシン類の濃度すべてにおいて、法令等で定める環境基準値以下であったことを確認した。新たな測定があれば、その結果を報告するようお願いした。

◇白い煙に関する相談が寄せられ、事業者から「冷却塔から排出された空気は、外気よりも高温で湿度100%の状態の外気と接触する為、冷却されると飽和状態となり白煙を生じ、特に冬場への移行期や冬場ではそう見えてしまう。」と報告を受けた。

●排水

◇本日まで複数回、目視により排水の状況を確認し、いずれも無色・透明であった。

●騒音、振動

◇騒音、振動について、本日まで複数回、測定器により、敷地周辺の複数箇所を調査し、いずれも、協定書に記した規制値以下であった。

●臭気

◇本日まで複数回、測定器により、敷地周辺及び梁川地域の公共施設で調査した結果、いずれでも臭気の異常を示す値は検出されなかった。

◇また、臭気の相談があった民地(梁川町字北町谷川)で測定器による調査を相談者の方に立会っていただき行ったが、異常を示す値は検出されなかったことを確認した。

●地下水

◇専門事業者から「今年の4月から10月までの水位の状況は、昨年度に比べ低下量や水位回復量等に大きな変化が見られず、井戸への地下水流入量についても大きな変化は生じないため、井戸使用に関して影響はないと判断される。」と報告を受けた。

●燃料

◇本日まで複数回、目視による飛散の有無を確認し、いずれも飛散は確認されなかったが、1月23日に市民団体が敷地外への燃料飛散が確認されている旨の情報提供があったため、1月26日に事業者ヒアリングを行い、燃料飛散の防止と早期回収の徹底を口頭でお願いした。

◇10月31日、市から事業者へ11月18日までに燃料サンプルの提出を求める文書を

発送した。事業者からは 11 月 18 日、月 1 回の専門分析機関による燃料分析結果報告（過去 1 年分）と、燃料分析結果を含んだプラント試験報告書の提出があり、性状、発熱量、水分割合、元素分析等の結果を確認した。

●放射能

◇本日までに燃料、ばいじん、焼却灰、事業所敷地の放射能測定結果について事業者から報告を受けていないため、測定結果の提出を求める。

【今後の対応】

- 引き続き、上記のモニタリングによる監視を継続するとともに、事業者に対して安全な操業を求めている。
- 異常が認められる場合には、法令等に基づいた調査等を行うとともに、国や県へ連絡を行いながら、早急の改善を求めている。